

2023年3月期第3四半期決算説明会（オンライン）の主な質疑応答

Q：修正した業績予想について、この予想から3Q累計実績を差し引きすると、4Qの利益率が例年の季節性などと比較して慎重な見方になっていると思うが、こういった背景なのか？

A：M&T分野のアフターマーケット事業が、2Qまで出荷は好調だったが、3Qにアメリカのクリスマス商戦や国内での実売（販売店からお客様へのセルスルー）で苦戦した。特にアメリカではカー製品に限らずテレビなどもかなり市場在庫が増えている。そのため、4Qは在庫の調整期間になる可能性があることから、慎重な見通しを立てている。それもあって、M&T分野については年間の通期予想を変更しなかった。

Q：セグメント別では、その他もマイナスになるようだが、この理由は？

A：その他でバッファを見ており、若干上含みがある。

Q：株主還元方針変更を中期経営計画より先に発表した理由は？変更の背景としてどういうキャッシュ・アロケーションを念頭に置いているのか？今後資産売却のようなものが出てくることを想定しているのか？あるいはB/Sでの最適な構成を見直していく中で、そういった判断になったのか？

A：今まで当社は株主還元については配当を中心に行う方針だったが、昨今株主の意見として、自社株買いへの期待の声を直接いただく機会もあったことなどから、配当にこだわらず、自社株買いなども含めた総還元性向へ指標を変更し、あらゆる株主に対する期待に応えていこうという判断になった。新中期経営計画の中でキャッシュ・アロケーションを検討しているが、株主への還元だけではなく、成長へ向けた投資にもキャッシュを使っていかなければならないので、そのバランスをどうするかは新中期経営計画と併せて発表する予定。今回、新中期経営計画に先んじて発表した理由としては、配当予想を修正した中で、総還元性向の観点から今後は手を打っていくということ、いち早く株主へ知らせたほうが良いだろうと考えたから。株主の期待に応えていくという姿勢をまずは宣言したと受け止めてもらってよい。

Q：PS分野の無線システム事業は、2Q決算では競合他社の部品不足もあってシェア的に追い風があったかと思うが、競争環境について3Qでは変化はあったか？4Q以降についての見方は？

A：3Qまで競合他社の供給難は継続しており、民間市場の当社受注は非常に活発に進み好調だった。4Qもその状態が継続する見通し。現地販社からの情報では、A社の（民間市場向けの）供給については、恐らく2024年度ぐらいからの再開になりそうとのことで、当社としては2023年度も引き続きこの状況が継続すると見ている。当社は民間市場でのシェアを今かなり拡大してきており、競合が回復してきたとしてもある程度の規模は維持していけると見ている。公共安全市場に対しては、1月に出荷を

開始した新製品VP8000を3,000台強出荷済み。これが今後コア商品として北米公共安全市場においてさらにシェアを拡大できるなど、非常にポジティブ要因が重なっている。以上から、無線システム事業は今後も引き続き好調を維持できると見ている。

Q：決算PPT資料の6ページのコア営業利益の増減要因グラフで、3Qだけを取り出すと、固定費が思ったより増えているようだが、その要因は？

A：為替が若干円安に振れたこともあるが、生産が順調に戻ってきて特にPS分野の無線システム事業で増産に向けての設備投資や人の増強などを行っており、生産に関わる経費が増えた。

Q：決算PPT資料の9ページの営業利益の増減要因グラフで、価格対応にセグメント/事業別のバラつきがあるようだが、何かこの3ヶ月で想定外のことなどあったか？価格対応の進捗状況を教えてほしい。

A：上期中にかなり価格対応できたと思っているが、価格対応しても売上、台数が出ないと効果が出てこない。無線システム事業については、価格対応も行っているが、価格対応しても売れていくということで想定以上に対応ができています。一方、M&T分野のアフターマーケット事業は、価格対応を実施したが、市場在庫が溜まってきており4Qは保守的に見ている。分野でいうと、PS分野の無線システムは価格対応を含め非常に好調、M&T分野のアフターマーケット事業は想定より4Qの見通しが厳しくなっていると見ている。

Q：決算PPT資料の25ページの受注残推移のグラフについて、北米民間市場向け受注残が9月より減っているのは出荷が順調に進んだからか？受注高でいうと、3Qは公共安全市場も民間市場もどちらも好調に推移したと考えていいか？

A：出荷は順調に推移している。民間市場の受注残は基本的に無線機端末のバックオーダーだが、これは供給が進むほど売上にコンバートする。一方で毎月の受注も好調なため、受注残は100million前後からなかなか減らず、直近では115millionまで再度増えている状況。その中でどんどん売上にコンバートすることで業績が好調に継続している。

以上